



小野 立石さんは、もっと企業を知ってほしいと言われていましたが、企業家としてもっとこうしたらいいということはありませんか。

立石 人口を増やすということはそんなに簡単ではないですが、目指すところはIターン者、つまりよそから府中市に移住して来てもらうことだと思います。そこで、府中のうりはなんなんだと考えると、1つは企業ですよ！4万人弱の府中市に、世界的な大企業から小さな会社、そして100年以上続く企業までたくさんあるんですよ。まずこれが素晴らしい。次に教育だと思います。コミュニティ・スクールに携わらせてい

ただいて、これをうらない手はないだろうと思っます。この前も、東京にあるNEKIで府中市教育のPRをしてきましたけども、リアクションは大きかったですね。教育と企業、働く場があり、そして子育てする環境があり、自然がある。まあ自然はどこでも言っています、なんといいっても働く場所と教育があるという2つをもっと発信して欲しいと思いますよ。

小野 分かりました。さらに、これからは、保育所と小学校の連携もとりつつ一緒にやっていこうと思っています。府中明郷学園はその点、保育所も近くにありま

立石 ほんと府中明郷学園は、環境がいいと思います。保・小・中との連携モデルとなりそうですね。それで、高校もコミュニティ・スクールを進めていくと聞きまして、私が思っているのは、高校まで子どもはつながっていくので、そこまで連携を進めていかないといい感じでしたね。

小野 実は中・高連携も取り組みが始まったんですよ。保育所の所長も高校へ来てもらって、どういう取り組みをやっているのか見てもらったりしています。言ってみれば、保・幼・小・中・高連携ですね。0歳〜18歳まで府中市でカバーしていこうという取り組みが始まっていますので、立石さん、松尾さんにもお世話になります。

立石 それはいいことを聞きました。ぜひお力になります！

松尾 私も協力します。

小野 そうやって、保護者、地域の方、学校と府中市全体で子どもたちを育ててい

かないといけないですよ。言われていたように、府中の良さというのを知ってもらいたいですね。

立石 良さを知って、府中から出て行って、グローバルに働く人もいれば、府中に帰ってきて自分の道をがんばるといふ人もいます。多様な環境を与えて、後は子どもたちが選択をしていけばいいんですよ。ですけど、

まず、府中市のことを知っていないと帰ってくるという選択肢も生まれないわけですよ。だから、まず知ってもらうことですよ！

最後にコミュニティ・スクールの課題とすれば、まだまだ名前や考え方が市民の方に浸透していないということ。今回も広報で出るといふのは、広めるチャンスにはなりますが、5年やっていても府中明郷学園地区で知らない人も多かったです。一部の人だけが知っているだけではダメだと思っています。本当に市民の方に浸透するようにしていきたいといかんと思っっているわけですよ。8月の全国大会に向けて、全国から来てもらうのに、府中市民がコミュニティ・スクールってなんじゃろって言うよううではいかんと思うし、広める努力はしていきたいと思っっています。

平谷 私は、コミュニティ・スクールの全国大会を開催して、府中市に來られた人が、自分たちのコミュニティがこんなに變化したよ

とか、新たな発想が出てきたよとか、逆に府中の人も、全国の取り組みを聞いて、もっとこういふふうにしていこうとか、こんなヒントをもらったとか、そんな会になればと思います。

立石 全国から千人くらい來られる予定ですよ。

平谷 そうですね。教育関係者が多いですが、ぜひ子どもたちや、地域の人が前面に出て取り組んでいることの成果発表という形で発表していけるようにしたいですね。学校の先生だけでなく、地域の方、保護者、そしてそこで育つ子どもたちみんなが主役ですからね。

小野 先日出来上がった教育大綱にも、「可能性とチームを活かす教育」が、まさに学校、地域、保護者、企業、オール府中で、大事な府中の子どもたちを育てていきたいと思っっています。この広報を読んでおられる方々のお力もぜひお借りしながら、刻苦精勵していきますので、今年1年よろしくお願ひいたします。

「全国コミュニティ・スクール研究大会 in びんご府中」

開催日 8月2日(金)